農産物直売が耕作放棄地減少に及ぼす効果について

Effects of decrease of abandoned farmland by direct sale of farm products

○星田　孝太郎*　　　服部　俊宏**　　　今井　敏行**
HOSHIDA Koutarou, HATTORI Toshihiro and IMAI Toshiyuki

1. はじめに

耕作放棄地は増加し続けており、耕作放棄地を解消させるために各種の対策が実施されている。その一環として、農産物直売所への出荷を開始することにより、増加した出荷量をまかなうために耕作放棄農地を再耕作する状況を調べ、農産物直売が耕作放棄地減少に及ぼす効果を明らかにする事を目的とする。

2. 調査対象施設の概要

調査対象施設は、平成13年度12月に十和田市郊外に開設された道の駅とわだとした。道の駅とわだの農産物直売施設は、青森県内の主な農産物直売施設の年間売上の平均が約8千万円であるのに対して平成15年度の年間売上が2億円を超える比較的大きな農産物直売施設である。また開設したばかりであるため農産物直売参加前後の変化が調査しやすいと考えた。

3. 調査結果

道の駅とわだ産直友の会会員のうち、会社・団体等を除いた個人会員102名に対してアンケートを実施した。54名から回答があり、回答率は53%であった。

Table 1 より、農産物直売参加後の方が売上高が増加しているケースが多い。これは、高収入の農家よりも50万円未満などの低収入の農家に対して著しい。これは、農産物直売による売上高には限度があるため、収入が多い場合はその効果が相対的に小さく出るからである。

農産物直売所に参加して起こった変化については、「生産品目が増えた」「収入が増えた」「生産量が増えた」という回答が多かった(Table 2)。直売所に参加した理由としては、「収入を増やすため」という回答が多かった。この結果、農家の多くは農産物直売へ収入増加を目的に参加し、実際に収入が増えていることがわかる。さらに農産物直売での農産物売上を増加させるため、「生産量を増やした」「生産品目を増やした」などの回答が多かったのではないかと考えられる。また、農産物直売へ参加した理由として自分達の生産体系に合っていたからという回答が多く、農産物直売の特徴が出た結果と思われる。

耕作放棄地面積に関しての回答は 17 名しか得られなかったが増加の回答はなく、現状維持の回答が6名、減少の回答が11名であった(Table 3)。さらに、「耕作放棄地面積が減少」と回答した11名の中で、「売上が増加した」と回答したのは8名と農産物直売参加による売上増加は、耕作放棄地を利用することで耕作放棄地面積の減少を促すと考えられる。また、耕作放棄地が減少した農家に対し聞き取り調査を行ったと

＊北里大学大学院獣医畜産研究学科, Graduate school of Veterinary Medicine & Animal Sciences, kitasato University
＊＊　北里大学獣医畜産学部, School of Vet. Medicine Animal Sci,　Kitasato University

キーワード：　耕作放棄地, 農産物直売, 農業生産物売上増加, 耕作地増加

Table 1　農産物直売への参加前・参加後の農産物売上高

The farm product proceeds before the participation in the farm products direct sales and after the participation

		参加後						
		50万円未満	50~250万円	250~500万円	500~1,000万円	1,000万円~2,000万円	2,000万円~3,000万円	3,000万円以上
参加前	50万円未満	5	11	1				
	50~250万円		12		1			
	250~500万円			1	3			
	500~1,000万円			2	3	1		
	1,000万円~2,000万円						5	
	2,000万円~3,000万円						2	1

Table 2 農産物直売に参加して起こった変化

Change to participate direct sales of the farm products

回答	回答数	選択率
生産量が増えた	22	46.8%
生産品目を変えた	17	36.2%
生産量が減った	2	4.3%
生産品目が増えた	28	59.6%
生産品目が減った	2	4.3%
農協への出荷を増やした	3	6.4%
農協への出荷を減らした	11	23.4%
農協への出荷をやめた	5	10.6%
耕作地が増えた	11	23.4%
耕作地が減った	3	6.4%
収入が増えた	27	57.4%
収入が減った	1	2.1%
設備投資を行った	13	27.7%
その他	4	8.5%
回答総数(人)		

（複数回答）

Table 3　売上変化と耕作放棄地の変化

Change of farm product proceeds and cahnge of Abandoned farmland area

売上高(円)		耕作放棄地の変化(a)	
参加前	参加後	参加前	参加後
未記入	未記入	2	2
50万円未満	50万円未満	2	2
50～250万円	50～250万円	70	70
50～250万円	50～250万円	8	8
50～250万円	50～250万円	20	20
1,000～2,000万円	1,000～2,000万円	2	2
50万円未満	250～500万円(↑)	20	20
50万円未満	50万円未満	4	1(↓)
50～250万円	50～250万円	5	3(↓)
未記入	50～250万円	5	3(↓)
未記入	50～250万円	15	10(↓)
500～1,000万円	250～500万円	2	1(↓)
250～500万円	500～1,000万円(↑)	20	0(↓)
50万円未満	50～250万円(↑)	13	10(↓)
50万円未満	50～250万円(↑)	5	2(↓)
50万円未満	50～250万円(↑)	0.2	0.18(↓)
50万円未満	50～250万円(↑)	1	0(↓)

ころ、農産物直売に参加することによる農産物生産量増加に伴う労働力を確保するため、女性や高齢者を活用しているケースが多いことがわかった。これは、農産物直売の農業生産が女性や高齢者でも十分できるものであるという農産物直売の特徴であると思われる。

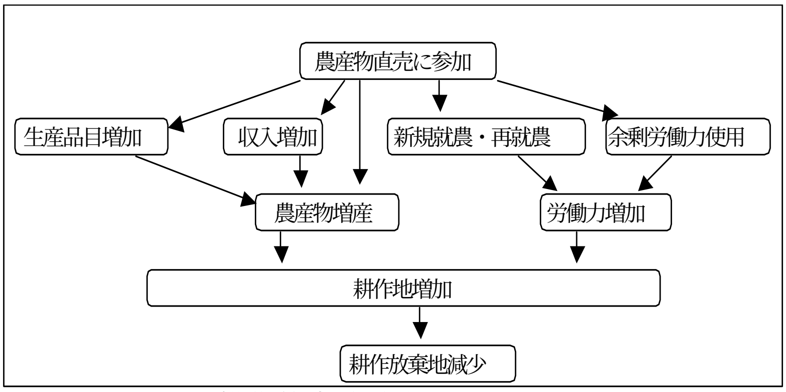

Fig.1　耕作放棄地減少のフローチャート

Flow chart to decrease abandoned farmland

4.　考察

本研究で明らかになった農産物直売と耕作放棄地との関係をFig.1に示した。これによると、農産物直売に参加することにより生じる変化が、耕作地の拡大を促し、その結果として耕作放棄地を減少させると考えられる。

最後に、調査を行うにあたり、道の駅とわだ事務所の皆様、アンケートにご回答いただきました各農産物直売所の責任者の皆様、道の駅とわだ産直友の会会員の皆様に深く感謝いたします。